

柳川郷土研究会  
会誌「水郷」付録  
すいきょう

# 瓦版

発行所 柳川郷土研究会  
柳川市本城町 113-1  
発行人 武松 豊  
編集責任者 金子俊彦



## 土竜(もぐら)の囁き

新しい年を迎えましたが本年も宜しく願います。さて、今年は兔の年です。兔といえば私の小学校時代、学校には兎小屋が並べられ兎が生徒の手によって飼育されていた。生徒達は兎の好きな草を手にし通学していた。当時、農家の子供達はメジロやヒバリそれに兎など飼育するのが唯一の楽しみであった。鳥籠も兎小屋も自作のもの。生き物を飼育することは根気の要ることで、一日たりとも怠けることができない。器用さと粘りの心が自然に培われていた。戦後荒廃した日本を見事に復興させた原動力に農民魂があったことは間違いない。集団就職で都会に出た若者達は親譲りの心で賢明に忠実に会社のために働いた。しかし、それらの者の二世はすでに都会人になってしまっている。林立するビルのため夕焼けさえ見たことがない者が多いそうである。せめて正月くらい親の故郷へ帰って自然に接してもらいたいものである。

(土竜)